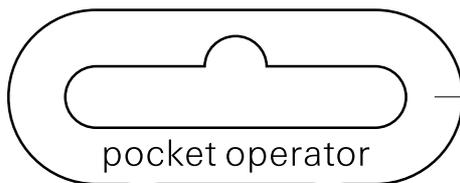
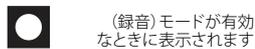


PO-24 office
 ユーザーズマニュアル
 [jp]



取り外し可能なハンガー

再生 / 録音モード



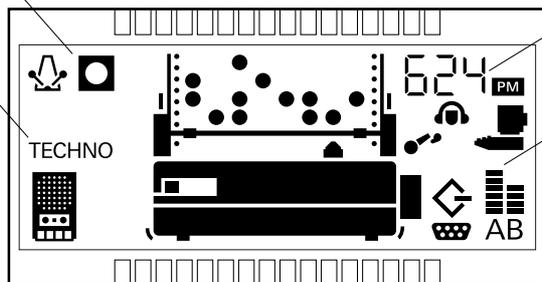
(録音)モードが有効なときに表示されます

選択されたテンポ

office



時刻 / 音符 / その他の情報



サウンドパラメーター A / B

折りたたみスタンド

サウンド

サウンドを選択するには、[sound]を押しながらか1~16のいずれかを押しします

アラーム

パターン

パターンを選択するには、[pattern]を押しながらか1~16のいずれかを押しします

ノブ A / B

bpm (テンポ)

短く押してテンポを選択、

m (倍率)

長押しでマスターボリューム 1~16を設定します
 ステップ1~16を押さながら*m*を押し、倍率を設定します

ソロ・コントロール

エフェクト

エフェクトを変更するには、[FX]を押しながらか1~16を押しします

再生 / 停止

サウンド 1-16
 エフェクト 1-16

記録

自動電源オフ (a.p.o.)
 一定時間ボタン操作が行われなかった場合、本体の電源が自動的にオフになり、ディスプレイで時間のみが表示されます。
 [sound]と [pattern] を押しと、電池の状態を確認できます。
 [sound]と [write] を押しして手で電源を切ります。これにより、
 停電しても最近のパターンデータの変更を確実に保存できます。

サウンド 1-16

1. 5.25インチ フロッピーディスク
2. 3.5インチ ドライブ・イジェクト
3. 3.5インチ フロッピーディスク
4. キーボード
5. マトリックス プリンター
6. ジョイスティック
7. マウスのクリック
8. トグルスイッチ

9. バスドラム
10. pcポケベル
11. ハードシンク・トーン
12. ハードシンク・ノイズ
13. リング・モジュレーション
14. ベース
15. グリッチ・エフェクト
16. ノイズエフェクト

エフェクト 1-16

1. エイリアシング
2. オーバードライブ
3. リピート4
4. リピート2
5. ローパス・フィルター
6. ローパス・スイープ
7. ハイパス・フィルター
8. ハイパス・スイープ

9. ディストート低
10. ディストート高
11. リトリガー
12. リトリガー (高速)
13. グリッチ
14. グリッチ (高速)
15. ブラインド
16. ノイズエフェクト

1. 使ってみましょう

電池

新しい単4乾電池を2本入れます。
プラスとマイナスの極性にご注意ください。

時刻設定

ノブAを回して時間単位、ノブBを回して分単位で時刻設定を行います。いずれかのキーを押して確定し、終了します。

アラーム時計

[sound] と [pattern] を押します。ノブAで時間単位、ノブBで分単位のアラーム時刻を設定します。(アラームを解除するには、ノブAを一番下まで回します。) 1~16のいずれかのキーを押してアラームのパターンを設定します。アラームを止めるには、いずれかのキーを押します。

時刻のリセット

時刻設定をリセットするには、一度電池を抜いて入れ直し、初めからやり直します。

2. 再生

パターンの選択

[pattern] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押してパターンを選択します。選択中のパターンに該当するLEDが点滅します。

playキー

[play] を押して再生を開始します。
もう一度 [play] を押して再生を停止します。

シーケンサー

1つのパターンは16ステップで構成されます。

3. ビートを作る

サウンドの選択

サウンドを選択するには、[FX] を押しながら1~16のいずれかのキーを押します。
サウンド1~8は、1980年代のコンピューター・ハードウェアからサンプルされています。

作成

[write] を押します。録音記号がディスプレイに点灯します。グリッドにサウンド/音符を入力します。選択中のステップが点灯します。
[play] を押して作成したパターンを再生します。

パラメーターのロック

再生中に [write] を押さえずにノブを回すと、サウンドのパラメーターが徐々に変化します。1~16のいずれかのキーを押しながらノブを回し、その特定のステップのサウンド・パラメーターを編集します。

4. エフェクト

再生中にエフェクトをパンチンするには、[FX] を押しながら1~16のいずれかのキーを押します。他のキーは押さず [FX] だけを押して、エフェクトを消去します。裏ページの図を参照してください。
一部のエフェクトは、シーケンサーが停止したとき、ライブモードでも作動します。[FX] を押しながら有効にしたいエフェクトが記録

されている1~16のいずれかのキーを押します。[FX] を短時間押して、エフェクトを解除します。

5. ソロ・プレイ

サウンドのソロ・プレイを切り替えるには、再生中に [FX] を押しながら1~16のいずれかのキーを押します。複数のサウンドを同時にソロで再生することができます。
[solo] ボタンから指を放すと、次のパターンの始まりでソロ機能が自動的にオフになります。
すべてのサウンドでソロ・プレイを無効にすると、ソロ機能を手動でオフにできます。

6. テンポとスイング

[bpm] を押して、テンポを変更します。ディスプレイの右上隅にテンポが表示されます。
HIP HOP (80 bpm)
DISCO (120 bpm)
TECHNO (140 bpm)
テンポを微調整するには、[bpm] を押さえずにノブBを回します (60~240 bpm)。

7. ボリューム

マスターボリュームを設定するには、[bpm] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押します。

8. ライブ録音

[write] モード以外の時は、再生中に [write] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押して音符をパンチンします。
入力した音符はスウィング設定に応じてクオンタイズされます。

9. ステップ・マルチプレイヤー

[write] モードで [bpm] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押し続けると、そのステップに繰り返して入力されます。[bpm] を複数回押すと、2、4、8、16の倍率設定を切り替えられます。

10. 作曲

(パターンのチェーン)

パターンのコピー

[write] と [pattern] を押さえずに、1~16のいずれかのキーを押すと、現在選択されているパターンが新しいスロットに複製されます。

パターンの消去

[solo] と [pattern] を押すと、現在選択されているパターンが消去されます。

パターンのチェーン

[pattern] を押しながら、1~4キーのシーケンスを押して最大128のパターンのチェーンを作成します。1つのパターンを繰り返して選択することも可能です。例: 1、1、1、4と入力すると、パターン1を3回再生してからパターン4を再生します。その後、シーケンスは初めから繰り返して再生されます。

11. 複数のユニットを同期

標準オーディオケーブルを使用して、複数のユニットを接続します。マスターユニットがスレーブユニットのテンポを制御します。マスターユニットの [solo] を押しながら [bpm] を押し、同期モードを切り替えます。この操作を繰り返して行うことで、ディスプレイの右上隅に表示された各種モードを切り替えます。スレーブユニットの [play] を押してマスターのクロック同期を待ちます。マスターユニットの [play] を押して開始します。

同期モード

5つの同期モードがあります。既定モードは「SY0」です。
同期を使用したときは、信号はオーディオ信号 (右チャンネル) と同期信号 (左チャンネル) とに分けられます。

同期のシナリオ

例A

チェーン: PO-24 → PO-20 → PO-14
設定: SY1 SY5 SY4

例B

チェーン: external → PO-24
設定: volca SY2
iphone
computer
synccontrol

例C

チェーン: ext. → PO-24 → PO-16
設定: SY3 SY4

例D

チェーン: PO-24 → ext. (分岐ケーブル)
設定: SY1

免責条項

teenage engineeringは、あらゆる合理的な努力を払い、本製品の精度と信頼性をお届けしておりますが、teenage engineeringもサードパーティーのサプライヤーも本製品の販売、使用に関して生じたいかなる損失、損害に対し、一切責任を負いません。ただし、下記は例外とします。a) 当社の過失または当社での勤務において当社の社員または代理店の過失により生じた人身傷害。b) 当社の重大な過失または故意の不正行為により生じたその他の直接損害または損傷。
満足のゆく品質、特定目的への適合性の保証を含め、すべての明示的または黙示の条件、保証、約束は、口頭または書面にかかわらず、除外されます (ただし、法令により明示的に記載または暗示されている条件、保証、約束は除外できません)。